

未来を担う若者が堂々と質問



鋭い質問を投げ掛ける



答弁を真剣に書き留める

中学生に議会の役割や仕組みを学んでもらい、市政に対する関心を深めてもらおうと「中学生議会」が8月20日、市議会議場で開催されました。参加したのは、市内11中学校の代表24人。議長役の生徒の議事進行により、地域の身近な問題から市の将来に関することまで、中学生の視点から多様な質問が出されました。今回は、各議員の主な質問とそれに対する答弁の一部を紹介します。

高齢者が安心して生活するための政策について

中台中学校

オンデマンド交通の利用者が増え、予約が取れないことがあると聞きます。どのような対策をしていますか。

【市長】 オンデマンド交通は、民間タクシー事業者を活用した乗合型の高齢者向け移送サービスです。運行開始以来、利用者が増加し、特に通院での利用が多い時間帯などは、ご希望の時間での利用が難しい場合があります。そのような現状を踏まえ本

年4月から、運行車両台数を1台増やして7台としました。

公共施設の清掃・管理について

玉造中学校

公衆トイレの環境と設備の管理について、どのような対策をしていますか。

【市長】 市が管理する公園のトイレは、清掃や紙の補充などを清掃業者に委託し、毎週1回実施しています。また、多くの大会やイベントなどが行われる中台運動公園などは、利用状況により清掃の回数を増やしています。

成田を訪れる観光客が快適に過ごせる環境づくりについて

成田高校付属中学校

観光案内所を利用しやすくするために、どのような取り組みをしていますか。

【市長】 観光案内施設であることが誰にでも分かるように、国際規格に適合したピクトグラムな

なお、中台運動公園と大谷津運動公園の公衆トイレは老朽化が進んでいるので、洋式化も含め建て替えを計画しています。ほかの公園についても、車いすでの利用にも対応した多目的トイレの設置や、洋式化への改修を順次進めます。駅前公衆トイレについては、毎日清掃作業をするとともに定期的に見回りを行い、不具合を発見した際は直ちに修繕の手配を行うなど、衛生設備の機能維持を図っています。

市ではどのような参加型のイベントを企画し、またどのようにイベントのPRを行っていますか。

【市長】 通年型の観光地を目指している本市では、四季折々のイベントが開催され、一年を通じて多くの観光客が訪れています。「成田伝統芸能まつり」では、観光客が踊りの解説や指導を受けたり、昔の遊びを体験できたりします。また本市では、子どもから高齢者まで多くの市民が

市民も観光客も楽しむことのできるイベントの実施について

下総みどり学園

どで表示し、案内看板には、観光案内所の位置を多言語で表しています。また、J Rや京成の成田駅と連携しながら、観光案内所へ誘導する案内看板を駅に設置したいと考えています。そのほか、成田山信徒会館内にある「成田ボランティアガイドの会」のスタッフが成田の名所や旧跡を案内しています。また2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、空港などで交通や観光の案内を行う「都市ボランティア」が、本市にも配置されることになっています。

スポーツを楽しみながら交流を図れるよう、さまざまな参加型のスポーツイベントを実施しています。PR方法はイベントの規模などで異なりますが、ポスターやチラシなどを市内の公共施設や集客施設、首都圏の鉄道の主要駅に掲出するほか、市の広報紙やホームページ、地域情報誌、各種情報ウェブサイトに掲載しています。

うなりくんの有効活用と経済効果について

遠山中学校

ゆるキャラグランプリ優勝後、うなりくんによるPR活動をどのように行っていますか。

【市長】 グランプリ獲得を契機として、ゆるキャラバンド「コレちゃんズ」での渋谷ライブデビューや新橋演舞場の歌舞伎公演での観光PRなど、新たなファン獲得に向けた取り組みを行いました。このような県外イベントへの出演件数は、例年に比べ約3倍に増えています。観光立市を目指す本市としては、今後も、うなりくんの高い知名度を活用し、県内外でのイベントにおけるPRや、SNS(会員制交流サイト)による魅力発

信を行うなど新たな挑戦をし、観光振興に努めていきます。

放課後や休日子どもたちが自主活動できる施設の増設・新設について

久住中学校

ボールの使用が可能な施設の増設・新設について、どのように考えていますか。

【市長】 市が管理する公園は、大小合わせて144カ所ありますが、ボールを使った試合や練習については多くの公園で、ほかの利用者への安全上の配慮などを理由に禁止しています。ボールが使用できるスポーツ施設として、中台運動公園を含む3カ所の運動公園、久住体育館などの有料施設や、北羽鳥多目的広場、学校跡地を活用した4カ所の地区運動施設などの無料施設があります。このうち遠山スポーツ広場は拡張整備を進めていますので、これらの施設を利用してもらいたいと考えています。

東京オリンピック・パラリンピック開催における取り組みについて

西中学校

外国人観光客に、公共交通機関

の使い方・ルール・マナーを分かりやすく知ってもらうため、どのような取り組みを考えていますか。

【市長】 市観光情報サイト「FEE L成田」は6カ国語に対応しており、交通情報のページに電車やバスなどの交通手段を掲載しています。さらに、成田空港を発着する各公共交通機関では、多言語による案内表示をしたり、

鉄道駅に駅名とは別に駅番号を付ける制度「駅ナンバリング」を導入したりしています。また「成田空港トランジット&ステイプログラム」では、成田空港の乗り継ぎ客や宿泊者を対象にボランティアガイドが同行するツアーの中で、切符の買い方やバスの乗り方などを案内しています。



出席した中学生議員(敬称略)

中台中学校…川本 咲、小澤 日彩
玉造中学校…村嶋 理子、土肥 優大
成田高校付属中学校…五十嵐 渚彩
下総みどり学園…竹能 世那
久住中学校…山口 夏葵、鈴木 初音

遠山中学校…中村 海晴、木内 碧羽
西中学校…高橋 英里沙、栗原 悠斗
吾妻中学校…菅野 千遥、多田 登惟
成田中学校…加藤 真桜、鈴木 七彩
公津の杜中学校…山中 萌白、上林 万葉
大栄中学校…米山 晃平、高橋 僚

空き家増加への対策について

吾妻中学校

市では、空き家バンクを設立しましたが、その制度と現状についてお答え願います。

【市長】市に寄せられた空き家に関する相談内容は、適正な管理が行われていないことによる草木の繁茂が大半を占めています。また、空き家が発生する原因としては、建物の相続が完了していないこと、道路が狭いため建物の増改築ができないことなどが考えられます。このようなこ

とから、新たな空き家の発生を

防ぎ、利活用を促進する目的で空き家バンク制度を設けることにしました。この制度は、市がホームページなどを活用して、空き家物件に関する情報を紹介する仕組みです。現在、空き家物件は登録されていませんが、活用を希望する利用登録者は3人います。

児童・生徒の登下校時の安全対策について

成田中学校

市では、児童・生徒の登下校時の安全確保について、どのような

取り組みを行っていますか。

【教育長】市では、車両運転者に注意を促す、黄色い帽子やランドセルカバーを小学1年生に配布しています。また毎週木曜日には、児童の一斉下校に合わせ防災行政無線で地域の方に見守りを呼び掛ける放送を行い、児童生徒の安全を守るための啓発を行っています。さらに、不審者に遭遇した場合などの緊急時に備え、希望する児童生徒に対し、防犯ブザーを無償で貸与しています。防犯活動については、青色回転灯装備車が下校時に毎日地域の防犯パトロールを行っ

ています。

成田空港の機能強化について

公津の杜中学校

空港の機能強化の計画が進んでいく中で、移転することになる地区や、騒音地域のエリアが拡大されることにより影響を受ける地域からは、どのような意見や要望が出ていますか。

【市長】市では、平成28年9月に空港会社から成田空港のさらなる機能強化案が示されて以降、約1年半にわたり、78回の住民説明会を開催し、延べ2,600人を超える方にご参加いただきました。そこでは、機能強化の必要性に理解を示す声がある一方、深夜早朝の騒音で健康に悪影響が出るのでは、騒音により土地の価値が下がるのでは、航空機からの落下物にはどのような対応するのか、といった不安の声が聞かれました。ほかに、騒音対策区域を決めるにあたっては同じ集落の中で騒音対策に差が生じないようにしてほしい、希望者が移転できるような法律を作ってほしい、防音工事や補助金などの騒音対策を充実してほしいなどの要望がありました。

大栄地区の小中一貫校開校に伴い閉校となる小学校校地の活用について

大栄中学校

大栄地区の閉校予定である5校の小学校の活用方法について、どのように考えていますか。

【市長】学校跡地の利活用については、行政需要への対応、地域ニーズを踏まえた活用、民間事業者の活用など「学校跡地利用基本方針」の考え方に基つき検討しています。これまで閉校となった学校の利活用状況は、旧豊住中学校は、健康・体力づくりなどを支援する施設、旧名木小学校は、障がい者通所施設となっています。今後、旧中郷小学校は、地域活動を支援するコミュニティ拠点施設、旧久住第二小学校は、海外旅行者などを対象とした低価格で宿泊できるゲストハウス、旧東小学校は、公式大会が開催できるパークゴルフ場として整備します。大栄地区5校の具体的な活用案は決定していませんが、地域の皆様と協議し、より良い方法を検討していきます。

※くわしくは市民協働課市民相談室(☎20・1507)へ。



講評を述べる小泉市長

市長講評

皆さんからいただいた質問は、本市が直面している重要課題をはじめ、市民生活に密着したもの、皆さんの中学校生活を実りあるものとするための提案、そして、国際空港を擁している本市だからこそ感じられる、外国人や市外から訪れる観光客の視点にたった本当にすばらしい質問であったと思います。そして皆さんが心から成田を好きで、成田を愛している、だからこそ、この成田を良くしたいんだという、そういった気持ちが伝わり、大変うれしく、また心強く思いました。皆さんからいただいた貴重な質問また提言は、私の目標としております『“住んでよし 働いてよし 訪れてよし”の生涯を完結できる空の港まちづくり』に、そして、今後の市の発展に、大いに役立ててまいりたいと思います。そして、これからも、本市が住みやすいまちとなるよう、皆さんと一緒に考えることができれば大変うれしく思います。